

平成23年3月24日差替え
収支状況の更正に伴う再評価によるもの

平成21年度 指定管理者年度総合評価表

■指定管理者概要

施設名	八戸市水産科学館
所在地	八戸市大字鮫町字下松苗場14-33
施設概要	設置目的：八戸市の水産に関する知識と普及向上を図る 構造：鉄筋コンクリート一部鉄骨造り5階建
指定管理者	名称 企業組合かぶあがり 代表者 代表理事 吉井 仁美 所在地 八戸市大字是川字ニツ屋6-38
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日
指定管理者の業務	八戸市の水産、海の生態に関する資料等の展示に関すること 施設の使用許可に関すること 施設設備等の維持管理に関すること
市所管課（問合せ先）	まちづくり文化観光部 観光課 観光物産グループ TEL 0178-43-9252 E-mail kanko@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	1. 漁業者及び漁業組合など各方面との連携をとり、3階有料展示コーナーの内容充実を図ることができ、その結果入館者の増加に繋がった。 2. ペットボトルの回収支援、町内会の総会、展示会場など多方面の方々に利用をしていただき、その結果地域のコミュニティとして役割を果たすことができた。 3. 資格取得支援や人材教育に取り組んだ結果、スタッフの意識向上が見られ顧客への対応や業務内容の質が向上し、入館者増加へと結び付いた。
今後の目標	1. 冬期間の3階展示室やシアターの充実を図り、修学旅行団体の確保などを充実させ、入館者数の安定的な確保を目指したい。 2. 災害や緊急事態にすばやく対応できるように危険予知活動や救急法訓練への更なる充実を図りたい。

■市（所管課）の総合評価

評価	指定管理初年度であったが、展示の工夫等の努力により、観覧者数は前年度を上回った。来館したお客様からの苦情も特にはなかった。 また、「ちきゅう」たんけんクラブの活動を継続し、子供たちが自分たちの地域や科学、自然について関心を持つような取組みを実施している。
指摘事項	施設の運営に当たっては、単年度の黒字を目指すことを原則とし、自主事業については、自主財源を確保した上で計画・実施するほか、修繕を実施する際は、事前に市側の承認を得ること。 地域住民や展望レストランのテナントとの連携を強化し、今後とも入館者の増加や利用者へのサービス向上につながるような取組みを実施すること。 自主事業等の報告書の提出漏れが見受けられたので、改善すること。 通常の活動についても随時報告すること。 スタッフが年度途中で数名辞めているので、組織として事業を進めていく上での適切な人員配置を再点検すること。

評価は◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪いの4段階です。

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	年中無休で対応しており、開館時間は夏期（6月～8月）午後6時まで延長し、利用者のサービス向上に努めた。
法令の順守	○	関係法令は遵守されている。
適正な人員配置	△	年度途中で人員の増減があり、実施事業と人員配置の計画性に欠けた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されている。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われている。
緊急事態の対応	○	事故、災害等の緊急事態に対する対応（準備）ができています。
文書の管理保存	○	文書は適正に管理保存されている。
報告書等の提出	△	自主事業の報告書について、提出漏れが見受けられた。
利用料金の取り扱い ※承認料金制の場合	○	市広報及びホームページにより広く周知している。
口座管理、経理の区分	△	指定管理業務と自主事業の口座が区別されていなかった。 ただし、経理上は整理、区分されていた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	事例なし
付保する保険	○	協定書で指定する損害保険に加入している。
指定管理開始前における準備	○	指定管理開始時、業務の引継ぎを適切に行った。
管理終了後における引継ぎ	—	
重要事項の変更の届出	△	重要事項の変更に関する届出に一部不備があった。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可は適正に処理されていた。
施設、設備の保守管理	△	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が一部不適切なものがあった。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）を適切に行った。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務を適切に行った。

2 運営状況		
指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	◎	観覧者数が年々増加している。 H19観覧者数 有料 33,844人 無料 9,989人 計 43,833人 H20観覧者数 有料 42,656人 無料 13,376人 計 56,032人 H21観覧者数 有料 44,979人 無料 13,011人 計 57,990人
自主事業	○	観覧者の増加、利用者へのサービス向上につながる自主事業が実施された。 ・マリエント「うまいもん市」 ・売店事業、販売機事業
その他の取り組み	◎	「ちきゅう」たんけんクラブの継続 独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）による講演会を実施 4階展示コーナー、5階展望ホールを貸しスペースとして活用し、展示等の催しを実施

3 収支状況		
指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	×	指定管理料 42,436千円 H21 総収入 53,984千円 総支出 56,417千円 収入は当初の目標を達成したが、予定外の経費を要したため、支出が大きく上回る結果となった。
自主事業の収支状況	△	H21 総収入 1,876,103円 総支出 1,996,793円 収入は当初の目標を達成したが、支出が上回る結果となった。

4 整備状況等		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度	○	観覧者数は増加しており、リピーターも多いことから、満足度は高いと思われる。
苦情・要望	○	アンケート箱を設置するなど、苦情・要望を聞く体制を整えている。トラブルになるような観覧者からの苦情もない。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程を整備している。
情報公開	○	情報公開の規程を整備している。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られている。
環境への配慮	○	ペットボトルの回収を実施しているほか、施設内設備の省エネに積極的に取り組んでいる。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング		
自主点検状況	実施状況	
	随時、地元有識者や地元漁業協同組合などを訪問し、意見を聞いている。	
2 定期モニタリング		
定期報告状況	実施状況	
	入館者、観覧料、減免申請等の報告書は毎月期限を守り提出された。	
3 随時モニタリング		
実地調査状況	実施回数	実施内容
	3回	①冬期のマリエントの営業について意見交換 ②マリエントの今後の運営について意見交換 ③4階入口ピロティ屋根の壁タイル、3階非常口の防火扉など施設老朽化による危険箇所の現地確認
	実施結果	
	①冬期の安全確保、誘客対策について確認した。 ②次年度以降の取組み等について確認した。 ③危険箇所の工事について、次年度の予算要求をした。	